大津市における観光地型MaaS実証実験
（国土交通省　新モビリティサービス推進事業選定（観光地型））

国土交通省

＜実証実験の概要＞

本市と京都市の一部を実験地域とし、住民と観光客を利用者として想定し、自動運転バスと四種の既存公共交通、ホテル、観光施設、小売店、飲食店等を便利かつお得に利用できるMaaSを提供し、公共交通を活用した周遊を促進する。

○実験期間：2019年11月1日～12月1日

○参画する事業者等
　大津市、京阪ホールディングス株式会社、京阪バス株式会社、日本ユニシス株式会社、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻空間情報学講座、地域事業者（琵琶湖ホテル他）、滋賀県、国土交通省近畿運輸局、経済産業省近畿経済産業局

○MaaSアプリの構築・提供
　＜対象交通手段＞
　鉄道、バス、ケーブル、ロープウェイ

　＜提供するサービス＞
　経路検索・チケッティング（デジタルフリーパス1日定額制、デジタルクーポン）

○特記事項
・交通以外のサービスとの連携
　（観光施設・小売店・物販店・ホテル等の情報やクーポンの提供）
・デジタルスタンプラリーの実施（人流データの取得）
・MaaSアプリは2カ国語対応（日本語、英語）
・自動運転バスの実証実験を実施（11月2日～8日）

＜展開エリアのイメージ＞

自動運転バス

＜MaaSアプリ「ことことなび」使用イメージ＞